

平成20年秋田県観光統計

(秋田県観光客入込・動態調査)

秋田県産業経済労働部

はじめに

「観光」は裾野が広く、観光客が増えることは、宿泊業、旅行業、飲食業など観光関連事業者のみでなく、農林水産業、商工業など様々な産業に広く経済波及効果をもたらします。

また、観光振興により交流人口を増加させることは、人口減少や少子高齢化が進む本県にとって地域活性化の有効な方策であるとともに、県外へ流出した財貨を県内へと還流させる「輸出産業」でもあります。

本県では、県の観光基本計画である「秋田花まるっ観光振興プラン」に基づき、「観光振興の主役は地域住民と民間」という考え方の下、昨年、地域振興局に観光振興班を設置し、地域により密着した積極的な活動を行えるような体制を整えるなど、地域の積極的な取り組みを支援してきました。

しかし、昨年は、4月の鳥インフルエンザの発生に始まり、6・7月には二度にわたる地震が起きたほか、ガソリン高騰、そして秋以降の急速な景気悪化と、観光業界にとって向かい風となる事態が相次ぎ、観光客数、宿泊数とも前年を大きく下回る結果になりました。

今年度は、これまでの現地に密着した地元支援の事業に加え、観光ホームページリニューアル事業や、秋田の「ブランド・イメージ」を明確にし、数ある地域の中で秋田を選んでもらえるような各種事業を展開し、秋田の観光振興のために官民一体となって取り組んでいくことにしております。

一方、本県を訪れる外国人観光客は順調に増加しており、引き続き、韓国、台湾などターゲットを絞ったPR事業を展開するとともに、語学研修など受入態勢整備を行い、更なる観光客の増加を目指します。

本調査は、市町村や関係機関の御協力により平成20年（1月～12月）に本県の観光地を訪れた観光客数と流動状況をまとめたものです。今後の観光振興の基礎資料として、観光関連業界をはじめ多くの方々に御活用いただきたいと存じます。

最後に、本調査の実施にあたり多大なる御協力をいただきました県内各市町村をはじめ関係の皆様に対しまして厚くお礼を申し上げますとともに、引き続き本県の観光振興に御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年7月

秋田県産業経済労働部長

岩本孝一

○市町村合併に伴う市町村名表示について

秋田県では、平成16年11月の美郷町誕生を皮切りに市町村合併が進み、平成18年3月の八森町と峰浜村の合併を最後に13市9町3村の枠組みが完成しました。

この「平成20年秋田県観光統計」では、平成21年6月現在の市町村名で記載しておりますが、表1-9、表1-10の市町村別観光客数の一部については、市町村単位で過去数年分の数値を比較するため平成17年1月時点での旧市町村名で表示しております。

合併市町村一覧表（平成21年6月現在）

	合併日	合併後の新市町名	合併前の関係市町村名
1	平成16年11月1日	美郷町（みさとちょう）	六郷町、千畑町、仙南村
2	平成17年1月11日	秋田市（あきたし）	秋田市、河辺町、雄和町
3	平成17年3月22日	由利本荘市（ゆりほんじょうし）	本荘市、矢島町、岩城町、由利町、西目町、鳥海町、東由利町、大内町
4	”	潟上市（かたがみし）	天王町、昭和町、飯田川町
5	”	大仙市（だいせんし）	大曲市、神岡町、西仙北町、中仙町、協和町、南外村、仙北町、太田町
6	”	北秋田市（きたあきたし）	鷹巣町、森吉町、阿仁町、合川町
7	”	湯沢市（ゆざわし）	湯沢市、稲川町、雄勝町、皆瀬村
8	”	男鹿市（おがし）	男鹿市、若美町
9	平成17年6月20日	大館市（おおだてし）	大館市、比内町、田代町
10	平成17年9月20日	仙北市（せんぼくし）	角館町、田沢湖町、西木村
11	平成17年10月1日	横手市（よこてし）	横手市、増田町、平鹿町、雄物川町、大森町、十文字町、山内村、大雄村
12	”	にかほ市（にかほし）	象潟町、仁賀保町、金浦町
13	平成18年3月20日	三種町（みたねちょう）	琴丘町、山本町、八竜町
14	平成18年3月21日	能代市（のしろし）	能代市、二ツ井町
15	平成18年3月27日	八峰町（はっぽうちょう）	八森町、峰浜村

目 次

I 観光客数調査

1 調査要領	1
2 調査結果	
(1) 概要	2
(2) 観光客数の推移	3
(3) 自然公園等観光客数	5
(4) 行祭事観光客数	6
(5) 施設観光客数	7
(6) 宿泊・日帰り別観光客数	8
(7) 県内・県外別観光客数	9
(8) 月別観光客数	10
(9) 市町村別観光客数	11
(10) 広域別観光客数	12

【資料】

表2-1 自然公園等観光客数〔国立、国定、県立〕	13
表2-2 その他主な公園等観光客数	14
表2-3 主な行祭事別観光客数	16
表2-4 主な施設別観光客数	20
表2-5 温泉別利用者数	
(1) 温泉郷利用観光客数の推移	24
(2) 主な温泉施設別利用者数	25
表2-6 海水浴場利用者数	28
表2-7 スキー場利用者数	29
表2-8 ゴルフ場利用者数	30
表2-9 四半期別外国人宿泊者数	31
表2-10 市町村別観光客数〔県内・県外別、宿泊・日帰り別〕	32
表2-11 〃 〔月別〕	33
表2-12 自動車専用道路各インターチェンジ別利用台数	
(1) 秋田自動車道	34
(2) 湯沢横手道路	34
(3) 日本海沿岸東北自動車道	34
(4) 東北縦貫自動車道	34
表2-13 秋田空港乗降客数	35
表2-14 大館能代〔あきた北〕空港乗降客数	35

II 観光実態調査

1 調査要領	
(1) 調査目的	36
(2) 調査方法	36
(3) 調査地区・調査期日・聞き取り件数	37
(4) 調査項目	38
2 調査結果	
(1) 有効サンプル数	38
(2) 男女別構成	38
(3) 年代別構成	38
(4) 現住所	39
(5) 旅行目的	41
(6) 訪問回数	43
(7) メンバー構成	44
(8) 利用交通機関	45
(9) 観光情報入手先	47
(10) 満足度	49
(11) 観光客流動ルート	
① 観光客流動数イメージ図(合計)	50
② " (冬: 2月調査)	51
③ " (春: 5月調査)	52
② " (夏: 8月調査)	53
② " (秋: 10月調査)	54
【資料】 秋田県観光実態調査票	55

III 全国観光統計基準への対応

1 全国観光統計基準の概要	
(1) 目的	57
(2) 調査地点の選定	57
(3) 観光地点の分類	57
(4) パラメータの設定	57
2 全国観光統計基準に準拠した場合の試算	
(1) 中分類別観光入込客延人数	58
(2) 観光客実人数試算のためのパラメータ	58
(3) 観光客実人数	59
(4) 観光消費額	59
【資料】 パラメータ設定資料	60
3 日本観光協会から示された統計単位による	
平成20年「秋田県観光統計」の試算	61